



第47号

平成29年8月15日

むらかみ

市議会だより



給食モリモリ体験クッキング

市民の宝 輝く瞳

ランチルームでの楽しい給食

西神納小学校（神林地区）

天井が高く広々としたランチルームで、全校児童64人での給食の時間。この日の献立は、ごはん、ピーマンの肉詰め、カレーあえ、野菜のスープで、多くの種類の野菜が使われています。1年生のみんなも、担任の先生を囲んで楽しそうに食べていました。

- 【特集】地域医療の充実へ …………… 2～3ページ
- 市政を問う!! 14人が一般質問 …………… 4～11ページ
- 委員会の審査報告…………… 12～14ページ
- 第2回定例会議決結果…………… 15～17ページ
- 政務活動費の交付実績…………… 18ページ
- 常任委員会の閉会中事務調査…………… 19ページ
- インタビュー…………… 20ページ

— 議会の役割と取り組み —

充実へ



新潟県議会へ、村上市、胎内市、関川村の3議会が合同で要望書を提出

急速に進む少子・高齢化や医療ニーズの多様化、地域医療を担う医師不足など、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。

今号では、地域の医療を守り市民が安心して暮らせるよう、医療体制の一刻も早い改善を望む村上市議会の取り組みを紹介します。

新村上総合病院32年10月開院 地域医療の中核へ強く要望

県北地域で唯一の総合病院であり、地域医療の基幹病院として大きな役割を担うJAN新潟厚生連村上総合病院。建物の老朽化により移転新築の構想が示され、移転場所を巡つての紆余曲折を経て、25年5月に移転候補地が村上駅西地区と決定されました。

これを受けて議会では、市民により良い病院となるよう、さまざまな観点から定例会ごとに多くの議員が一般質問を行いました。また、秋田県横手市の厚生連平鹿総合病院など先進地視察も行いました。

昨年の3月末には、市と厚生連により「村上総合病院の移転新築に関する覚書」が締結され、市では本年度から移転候補地への幹線道路や候補

地周辺道路の整備に着手しています。現在は予備設計に基づき、道路用地の測量調査や道路の詳細設計を実施中であり、本年度中には用地関係者への説明会が開催され、その後、用地買収に入る予定です。着工は来年の夏頃を予定し、32年夏の完成、10月の開院を目指しています。病床数は現在と同規模の263床程度、診療科目では6科増の24診療科（一般的な呼称では19診療科）を基本とする方針です。

議会としても、開院への準備作業が計画どおりに推進されるよう注視するとともに、地域医療の基幹病院として十分に機能するよう環境整備を強く要望していきます。

県立坂町病院の活性化へ 関川村・胎内市両議会と連携

隣接する関川村や胎内市から受診される方も多い県立坂

町病院ですが、近年の医師不足により、診療科によっては

地域医療の

常勤医師の不在が常態化し、地域の中核病院としての機能低下や、地域の医療体制への不安をもたらしています。

このような状況を受けて、

26年3月に当市議会のほか関川村議会と胎内市議会において、同病院の活性化へ関係機関に強く要望することが決議され、同年5月に3議会が合同で、県知事、県議会議長、新潟大学医学部長および同大

医歯学総合病院長へ要望活動を実施しました。面会した副

知事からは、「県全体のバランスを考慮しながらしっかりと対応していきたい。」との発言がありました。

今年5月には3回目の要望活動を行い、内科および小児科医師の増員、産科の復活、トイレ改修など具体的な事項についても要望しました。

当市議会では、同病院が地

域医療の拠点としての体制が確保されるよう、今後とも関係機関への要望活動を継続していきます。

特別委員会で現状を調査

村上市議会には所管の市民厚生常任委員会のほかに、地域医療の課題や在り方について調査研究することを目的に、「地域医療調査研究特別委員

会」が設置されています。

この特別委員会では、市民が安心して医療が受けられる環境を整えていくために、圏域の医療機関の現状を調査し、行政に対して提言ができるよう取り組んでいます。

県北地域の

医師不足対策

6月定例会において、「村上市医学生修学資金貸与条例」が可決されました。この条例は、医学生に対し、将来医師として市内の病院での一定期間の勤務を条件に、修学に必要な資金を貸与するものです。

貸与期間は最長6年間で、大学卒業後に医師免許を取得し、臨床研修後、一定期間市内の病院で勤務すれば、貸与金の返済が全額免除されます。

この地域の医師不足の改善へ、医師を志す方が経済的理由により諦めることがないよう、ぜひこの制度を利用していただければと考えます。

病児保育センター開設 子育て支援の充実を期待

26年11月に、あらかわ保育園保護者会と金屋保育園父母の会から、医療機関併設型の病児保育施設整備についての要望書が議長に提出されました。これを期に、一般質問においても議員から提言がなされ、

本年7月から県立坂町病院敷地内に、あらかわ病児保育センターが開所しました。病児・病後児保育施設は本市では初の施設となり、要望が多かった子育て中の方々にとって待望の開所となりました。

議会へも多くの市民の方か

ら「本当に助かります」「待っていませんでした」との声が届き、病児・病後児保育に対する期待の大きさを痛感しました。

現在の定員は4人と制限もありますが、今後の利用状況を検証し、さらなる充実に向けて議会としても研究を進めていきます。



あらかわ病児保育センター開所式

市政を問う!!

14人が
一般質問

6月15日・16日・19日の3日間の日程で行われた一般質問に14人の議員が登壇しました。

質問および答弁の要旨を質問順で掲載します。

一般質問の原稿は、質問者が作成したものを掲載しています。

一
般
質
問
(1)

1 渡辺 昌議員 5

1. 学校統合について
2. 山間過疎地域の支援について
3. 芸術・文化の振興策について

6 河村幸雄議員 7

1. 国外へ向けての観光振興施策について
2. 観光施設の整備について
3. 村上市制10周年について

11 鈴木いせ子議員 10

1. 平成30年産米以降の農政について
2. 朝日多目的グラウンドの付属施設(トイレ)の改修について

2 板垣千代子議員 5

1. 減少を続ける消防団員について
2. AEDの普及について

7 小林重平議員 8

1. 地方創生(村上創生)について
2. 未来を見据えた教育について
3. 農業戦略について

12 竹内喜代嗣議員 10

1. 平成30年度から行われる国保改革について
2. 国保税の徴収と減免について
3. 農業、小規模企業・個人業者への支援について
4. 学校統廃合を見直す提案について

3 小杉武仁議員 6

1. 仕事と家庭の両立支援(ワークライフバランス)について
2. 伝統的工芸品の使用拡大について
3. スポーツ施設の充実とジュニア選手育成について

8 姫路 敏議員 8

1. 有害鳥獣対策について
2. 村上市の産業振興について
3. ふるさと納税について

13 大滝久志議員 11

1. 葡萄スキー場の有効活用について
2. 有害鳥獣駆除対策について

4 山田 勉議員 6

1. 上海府地区及び下海府地区の海岸浸食対策について
2. 村上総合病院の跡地利用について
3. スポーツ振興車の利用促進について

9 川村敏晴議員 9

1. 国の減反政策廃止に伴う対応について
2. 部落差別解消推進法施行に伴う本市の対応について
3. スケートパークの運営方法について

14 稲葉久美子議員 11

1. 就学援助について
2. 学童保育・児童館指導員の待遇改善について
3. 環境問題について

5 本間清人議員 7

1. ごみの収集運搬について
2. 指定管理者制度について
3. 新潟リハビリテーション大学について

10 長谷川 孝議員 9

1. ラベンダー蜂蜜プロジェクトの提案について
2. 側溝の清掃補助金の交付について

※紙面の都合で質疑内容の一部を掲載しています。詳しくは、中央図書館に備え付けの会議録や市ホームページから本会議の録画中継をご覧ください。

美術振興へ施設の改修を



渡辺 昌 議員

問 学校統合に向けて準備が進められているが、施設面での課題や、それらへの対応は。

答 統合後の校舎となる小学校では校舎の増築や一部改修が必要となっている。学校給食では、統合により調理場が減り、残る現在の施設では賄いきれない状況にあるため、統合に該当する学校給食施設の整備計画について、コンサルタント業者に委託し、対応策を検討している。

問 会派で視察した富山県南砺市では山間過疎地域振興条例を制定し、山間地域の活性化や地域間格差の是正に取り組んでいる。広大な市域の本市でも、山間過疎地域に

絞った振興策や支援策が必要ではないか。

答 地域おこし協力隊や集落支援員の導入、空き家バンク移住応援補助金など、地域活性化へ多方面から取り組んでおり、山間過疎地域に絞った条例や定住奨励金等の割り増しを行う支援制度を設ける考えはない。

問 市展の充実など美術振興を図るため、県展の巡回展招致や、既存施設を改修し美術作品の展示にふさわしい施設とすることが必要であると思うが、何らかの計画はあるのか。

答 現在、県展の巡回展招致の計画はないが、今年度は芸術鑑賞の機会を提供するため、県立近代美術館所蔵作品の巡回展を招致する。また、現時点では施設改修の計画はないが、関係団体と必要に応じて意見交換を行い、検討したいと考えている。



改修により市民ギャラリーとしての利活用が望まれる三の丸記念館



幼年消防クラブ入団式(村上幼稚園)

問 現在の消防団員定数は2422人、実員は2205人、217人の団員が不足している。毎年の団員集めに大変苦勞をしているとのこと相談を受けた。

村上幼稚園では、昭和63年から続く幼年消防クラブがある。今年も年長組の園児40人が入団し、①正しい火の取り扱い、②消防の仕事に対する理解、③地域における防火思想の普及活動を行うとのことである。

このように、消防団員の確保には、幼少期からの取り組みが効果的であると考えるが、消防団員の確保についてどのように取り組むのか。

答 本年3月に設置した広報指導分団の保育園等への防災指導を通じて、子どもたちが防火意識や郷土愛を深め、将来的には消防団について関心を持ってもらいたいと考えている。

問 前市長から、これ以上AEDを取り付ける場所はないと言っていたが、AEDの普及に取り組んでいた。その後、市民の皆さまよりもっと使いやすい方法をこのことで、コンビニ等への設置や貸し出しについて一般質問をした。今回は、ある集落区長より、集落の公民館等にAED設置の相談を受けた。希望する町内・集落へのAED設置について伺う。

答 AEDの貸し出しは薬事法に抵触するため、町内・集落への設置はできない。しかし設置場所等についてさらに検討を重ねていく。

減少を続ける消防団員



板垣千代子 議員

時代の変化を捉えた施策を

問 少子高齢化の進展や女性の就業の増加に伴い、仕事と家庭の両立に向けた施策を進めるべきではないか。

答 市民のワークライフバランス意識のさらなる醸成のため、第2次村上市男女共同参画計画を策定し、働きやすい職場環境の改善と充実に取り組みたい。

問 本市でもイクボス宣言をすることにより、仕事と家庭の両立で悩む市民の支援を考えてみないか。

答 個々のワークライフバランスや所得向上も必要であり、他団体の皆さんのご宣言に向けて取り組みたい。

問 伝統的工芸品の利用促進および



村上木彫堆朱と羽越しな布の使用拡大へ



小杉武仁 議員

観光地としての魅力向上を図る観点から、伝統的工芸品の使用拡大に向けて取り組みないか。

答 伝統的工芸品の生産に直接結び付き、産業振興の面からも有効な提案と捉え、維持と拡充を視野に入れて検討していきたい。

問 世界への挑戦を視野に入れて頑張っている青少年世代がさらに活躍できるように、スポーツ施設の機能の充実と、ジュニア選手育成に取り組みべきではないか。

答 本市のスポーツ全体の振興を図るとともに、子どもたちの頑張りが、市民全体の元気の源となるよう取り組みたい。

問 ジュニア選手育成に対する激励金制度を講じられないか。

答 各種大会参加支援制度など、ソフト面でも取り組んでいきたい。

早急な海岸浸食対策を



山田 勉 議員

問 羽越水害発生から50年を迎え、約2500人が参加し総合水防演習が行われた。一方、上海府地区および下海府地区では、大きな津波が襲来したら大変なことになると思う。離岸堤の整備等根本的な対策の早急実施を望むが、今後の対応について伺う。

答 市民の生命の安全や安心できる生活基盤を確保するため、海岸沿線地域の声が直接国や県に届くよう、引き続き粘り強く要望活動を行っていき

問 村上総合病院の移転新築に伴う跡地利用について、32年10月開院に向けて厚生連において動き



離岸堤の設置工事(寒川海岸)

出しているところとは思いますが、隣接する旧ジャスコ跡地との一体的活用を図ることが望ましいと思う。市長のお考えは。

答 市全体に新たな魅力と活力を生み出す市民交流の中心地区として位置付け、「子育て支援」機能を中核として、他の機能やイベント、催しなどの取り組みを加えることでさらなる魅力や交流を創出し、旧ジャスコ跡地を一体と考えていきたい。

問 スポーツ振興車の維持管理経費への補助を拡大し、支援できないか。

答 バスの導入にあたり、運営経費は運用団体が負担することを協議して導入した経緯がある。導入2年目であり、事業の検証と効率的な維持管理について検討していただきたい。

ごみ収集方法は現状でいいか



本間清人議員

問 村上地区での燃やすごみの収集は、6月から9月までが月、水、金の週3回で、10月から5月までが月、金の週2回。また、プラスチック製容器包装が月2回、新聞と雑がみは月1回、びん・缶と燃やさないごみおよびペットボトルは2カ月に1回である。収集日や収集方法等については地区ごとに違うと思うが、収集回数などはどのように決めているのか。

答 地区ごとの収集回数は、合併前の旧市町村から引き継いで現在に至っている。

問 住民から収集に関しての意見や要望などはあるか。

答 村上地区では、資源

ごみの収集回数が少ないことや、びん・缶、有害ごみについて、平日に通常ステーションでの収集を希望する意見が寄せられている。なお、収集回数や収集方法などの統一に向けて昨年度から委託業者との協議を行っている。また、委託業者の車両や人員体制のほか、市の財政負担など課題も多くあるが、分別徹底によるごみ減量化とリサイクル促進に向け協議を進めたい。

問 新潟市などでは新聞紙、雑紙などは自宅の前に出しており、そのことよって居住者の安否確認にも繋がっているようである。良い方法と思うが本市への導入は。

答 業者の方からもいろいろ提案をいただいている。有効な手法と考えるので検討したい。



新潟市の家庭ごみ収集カレンダー



「三面川 宝の蔵よ 鮭の群れ」

問 イヨボヤ会館が開館30周年を迎え入館者が減少している中、展示内容等の刷新が必要である。日本で最初の鮭博物館でもあり、施設の整備、リニューアルの考えはないか。

答 イヨボヤの里開発公社と担当課で検討しながら、村上の鮭文化をPRし、リニューアルを検討していきたい。

問 訪日外国人旅行者の増加対策をどのように考えているか。

答 2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合に加入し、国から認定されている観光周遊ルート「日本

の奥の院東北探訪ルート」「日本海きらきら羽越観光圏」等の広域的な取り組みに参画し外国人誘客に努めていく。

問 村上市制10周年について、市内5地区が集う市伝統芸能祭を開催して市民のつながりを深める考えは。

答 伝統文化の普及啓発にも大きな成果があると思う。市教育基本計画でも、文化財の保護伝承事業として開催することを目標としている。後継者育成に向けた保存団体の活動に対して支援を継続していく。

問 郷土の歴史を刻む数々の文化財は先人が残してくれた宝であり、次世代につなげていくためにも「村上市の文化財」を刊行する考えは。

答 文化財の普及啓発を図り歴史遺産の価値を市内外に伝えるため、刊行物の作成を検討していく。

イヨボヤ会館開館30周年



河村幸雄議員

「村上創生」で地域に元気を

問 日本は少子化、超高齢化、一極集中による都市と地方の格差が広がり大きな問題になり、このままでは地方が失われてしまう。このため地方創生において、地域を一番よく知る市町村で総合戦略を策定するものだが、村上市の総合戦略を伺う。

答 村上市の総合戦略は、市民が夢や希望を持ちながら地域の発展と活性化を目指して、27年12月に策定した。また、第2次村上市総合計画では重点施策として位置付け、各分野の皆さんからご意見をいただき、計画の改定、事業の改善を進めている。

問 地方創生を進めていくとき、小



地方創生の新展開で郷土への誇り・愛着の醸成を



小林重平 議員

学生、中学生の未来を見据えた教育が大切ではないか。

答 本年度を初年度とする「郷育のまち・村上」を基本理念に掲げた第2次村上市教育基本計画を策定し、教育施策を推進している。豊かな自然、伝統文化等地域の良さを感じていけることが大切であり、このことが「ここで生きる」ことの自信と誇りにつながり、地域を支える次世代の担い手となる源と確信している。

問 日本の農業は一段と厳しくなると思うが、村上市の農業戦略は。

答 基本的な農業政策は、農地の集積、担い手の育成等生産性の向上、ブランド戦略、6次産業化を通じた付加価値の創造としている。今後、産地間競争が進むことが想定されるが、関係機関・団体と一体となった生産・販売戦略等が必要と考える。

クマスプレーで身を守れ



姫路 敏 議員

問 最近、クマがよく出没するが、市民への危険周知方法を聞きたい。

答 村上市では、クマ出没時の対応マニュアルを作成し対応している。市民からクマ出没の通報を受けると、村上警察署、地元の猟友会と連絡をとり、パトロールの実施や関係区長、学校、保育園に連絡をし、防災行政無線・むらかみ情報ねっとによるメール配信などで市民へ周知している。

問 今後の対処方法を聞きたい。

答 出没地域にはクマ出没の注意看板や、餌となる誘引物の撤去、処理を呼び掛けている。何度も



我が身を守るクマスプレー

目撃される場合は、檻の設置による捕獲や、猟友会によるパトロールの強化を行っている。

問 今後は市民一人一人が、クマから身を守る備えも必要である。そこで有効なのがクマスプレーである。これはクマと遭遇した時にクマに吹き掛け追い払うものであるが、インターネット通販で販売されており、1万円ほどで買える。今後村上市主導で、クマスプレーの取り扱い方法と併せてクマの特性などを教える講習会を各地区で開催し、講習会参加者には終了証を渡し、さらにクマスプレーを購入する方には5千円ほどの補助金も用意してみたいかがか

答 クマから身を守ることは大切なことである。その意味でもクマ講習会については前向きに考えたい。

減反廃止、市の対応策は



川村敏晴 議員

問 30年産米からの減反廃止で、奨励金もなくなり、農業所得の減収も避けられないと思うが、市の対策は。

答 本市で主食用米として生産されていた分については約3億1500万円の交付金が減るが、売れる米作りと売れる米作りを考え、農業所得の減収を抑えていかなければならない。

問 売れる米作りのため、市全体を一つのほ場と捉え、市が行司役を担う必要があるのではないか。

答 そこが悩ましい部分だが、乗り越えることが全ての生産者の所得向上に繋がることを考える。副市長に再生協の会長に就任してもらい、しっかりと

した議論をしていきたい。

問 昨年成立した部落差別解消推進法の趣旨と意義は。

答 部落差別は現存する許されない問題であり、その解消に向け、国や地方公共団体の責務を明らかにし、その解決に取り組むことを明確に示したものである。

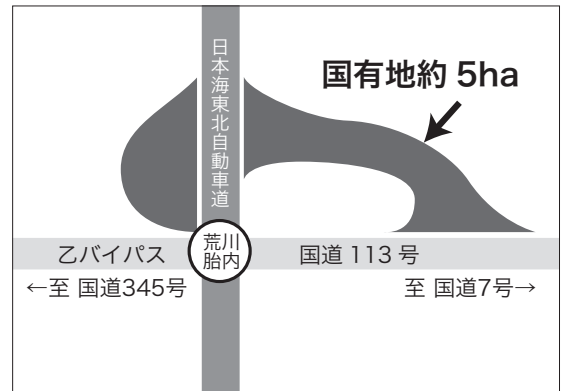
問 (仮称)村上市スケートパーク建設事業について、進捗状況と完成後の運営計画は。

答 現在、基本設計と実施設計をコンサルタント業者に委託し、建設予定地の環境整備に着手。完成後は、ジュニア選手育成の教室や一般利用、大学生の合宿利用、スケートボードの聖地としての各種大会の誘致を念頭に、指定管理者制度を導入し、市内各種団体と連携して施設運営に当たりたい。



旧村上市市民会館にある日本海スケートパーク

蜂蜜で耕作放棄地の解消を



ラベンダー蜂蜜プロジェクトの提案場所

問 耕作放棄地などの資源を有効活用し、ラベンダー蜂蜜プロジェクトを提案してきたが、政策として取り組めないか。

答 このプロジェクトについては、ラベンダーによる花畑化と観光客誘致、希少価値が高い国産蜂蜜の採蜜関連商品の販売などにより事業化を目指すものとして、花畑の用地として耕作放棄地などを有効活用した地域の活性化を図る提案をいただいているものである。

市としても、プロジェクトの提案を受け、この事業に取り組む意欲の

ある団体や事業者に対し、事業化に必要なラベンダーの植栽に適した土地の確保などについて協力させていただきたいと考えている。

併せて、事業化に向けてどのような支援ができるかということについても検討をさせていただきたい。

問 各支所にお世話をいただき数カ月をかけて全市を調査した結果、適地として荒川胎内インターそばの国有地約5haがある。現在、新潟財務事務所へ移管中とのことだが、この場所を借りて取り組んではどうか。

答 周辺が田んぼであることで農薬散布による蜂の生態に影響がないかなどが考えられる。

リスクはあるだろうが、可能性を信じて掘り下げることが必要。耕作放棄地の解消策の案として提案いただいたものであり、しっかりとあきらめずに研究したい。



長谷川 孝 議員 議員

30年産米どうなる

問 作り過ぎによる値崩れを懸念した生産者の声に応じ、県では達成義務のない生産目標となる「参考値」を提示することだが。

答 自分が思うように作っても良いという認識の方も多くいることと思われるが、必要とされている量を的確に生産することが米価の維持につながるので、安定した岩船米の生産と農家所得のため、重要な数字であると考えている。

問 村上市は7月に生産目標を示すとのことだが、どのような内容か。



鈴木いせ子 議員

答 県の暫定数値を基に8月末までに目標設定の試行を報告するものだが、29年産の作柄、岩船米の販売状況等から、30年産および中長期の生産数量を決定していくことになる。

問 国からの手厚い補助金のある飼料米や米粉用米の栽培を進めるのか。

答 経営所得安定対策では、水田活用の直接支払交付金、産地交付金の交付が受けられる。生産者個々の判断によるが、需要動向に沿った推進が必要と考える。

問 米の販売先のある農家は水田をフル活用し、小規模農家が犠牲になるようなことは避けてほしいが。

答 需要にこたえる米生産を行うことで岩船米の価格維持を行い、生産者の所得確保を図るため、地域として過剰な主食米生産を防止しなければならぬ。小規模農家の方々が取り組める生産数量の提示が大事であると考えている。



岩船米の価格維持と品質の更なる向上を

国保税引き下げを

問 来年度から国民健康保険の運営が市町村から都道府県と市町村の共同運営に変わる。

加入者にとってどういう意味を持つのか、何をもちたらすのか伺う。

答 30年度からは、県が市町村とともに国保の運営を行い、財政運営の責任主体を担うことで、安定的な財政運営や事業の効率化を図り、制度の安定化が図られる。

また、県が国保運営の中心的役割を担うことで、国保サービスの維持および確保、健康づくりの促進等、地域における良質かつ効率的な医療の提供になると期待している。

問 県に標準保険料率を上げるような試算を出さ



竹内喜代嗣 議員

ないよう現状維持を要請してほしいと思う。これ以上の増税は困るといのが市民の声だ。

県は、社会保障推進協議会に「市町村の実情をよく聞く」と回答しているが、市長の見解を伺う。

答 県は、国民健康保険の被保険者数、被保険者の構成年齢、所得および医療費水準により、市町村から県へ納める納付金および納付金を賄うための標準保険料率を算定する。よって、市は県が示す標準保険料率を参考に保険料率を決定することになる。なお、県の試算については、最大の関心事として推移を見守りたい。

問 多子世帯に対して国保税の減免規定を設ける考えはないか。

答 県で検討をしているので、多子世帯に対する減免規定を考える。



新潟県が市町村とともに国保を運営

蒲萄スキー場の有効利用を



大滝久志 議員

問 2年に第2ペアリフトが完成し、蒲萄山山頂まで行けるようになった。スキー場としては珍しく海が見えるスキー場となった。

答 スキー場の面積は18haと広いとは言えないが、雄大な日本海とそこに浮かぶ粟島が一望でき、交通アクセスも良く、広い駐車場もある。

スキー場のグレンデ面積17haを利用して、無雪期の有効利用として山頂を開発した公園等の計画をしたらどうか。

答 無雪期の有効利用は、スキー場活性化の研究材料である。現在運行しているリフトは下り方向に乗客を乗せない設計で建



通年での有効利用を期待(蒲萄スキー場)

設し許可を得ている。また、土地の借用と協力を地元にお願しいし運営しているの、無雪期の活用についても地元と協議等慎重な検討が必要である。

問 有害鳥獣被害が多くなっている。農山漁村では高齢化が進み、高齢者の楽しみとやる気を奪っている。市としてどのような対策をしてき

ただか。

答 鳥獣被害防止対策として、個体数調整、専門家による現地指導および電気柵の設置を行っている。作物被害で1番多いのがサルによる被害で、28年度の被害面積89.3ha、284万5千円という状況である。

今後も電気柵が有効であることから、設置を推進し、農家組合単位でネット等の助成を行い、被害防止対策を講じたい。

安心して子育てできる環境を



稲葉久美子 議員



指導員の待遇改善を(写真は瀬波児童館)

問 就学援助の「新入学児童生徒学用品費(入学準備金)等」の改定状況は。

答 今年度から、国が定める支給単価に合わせて小学1年生で2万4700円から4万6000円に、中学1年生では2万3550円から4万7400円に改定した。

問 「入学準備金」の入学前の支給状況は。

答 新中学1年生には、6年生の本年2月に支給開始。新小学1年生については実施に向け検討中である。

問 メガネ代を就学援助の対象にできないか。

答 個別のものであるので自己負担が原則である。今のところ補助対象とすることは考えていない。

問 就学援助の適用基準・適用率はどのくらいか。

答 収入基準が、世帯の前年所得額が生活保護世帯の規定に準拠した需要額の1.3倍未満。市内全児童生徒数に対する認定率は、小学校14.94%、中学校で15.52%であり、申請世帯に対する認定率は98.09%である。

問 学童保育・児童館指導員の雇用は長期的に安定した待遇改善が必要ではないか。

答 指導員の安定した雇用形態が学童保育所・児童館の質の向上につながる。職員の業務の専門性や経験年数、職務内容等を考慮しながら、検討したい。

委員会の審査報告

◎は委員長
○は副委員長

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報特別委員会で作成したものを掲載しています。

総務文教常任委員会所管分

- ◎鈴木いせ子 ○鈴木 好彦
- 小杉 武仁 木村 貞雄
- 稲葉久美子 大滝 国吉
- 三田 敏秋 佐藤 重陽
- 河村 幸雄

◆村上市の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 農業委員と農地利用最適化推進委員の報酬額を、これまでの月額のほか年額を表記した理由は。

答 法令の改正で、新しい制度での農業委員等が任命されることにより、農業委員会が個別に定めた日から支給されること、報酬の大部分の財源は農地利用最適化交付金となりますので、原資が明確となるよう別段で決めました。

◆村上市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について

問 31年統合と32年統合と、統合時期が異なっているのに、一括で改正する理由は。

答 統合に伴う教員の加配や校名・校歌などの準備を早めに対応しなければならぬからです。

防災行政無線統一運用へ

◆荒川地区防災行政無線（同報系）再整備事業同報系デジタル無線工事の工事請負契約の締結について

問 屋外拡声子局の移動設置が何箇所ありますが、難聴事象でもあったのですか。

答 従来、民地借用していたものを再整備の機会に市有地に移設するものです。また、運動公園にはこの機会に増設しました。



防災行政無線の周波数統一に伴い再整備される屋外拡声子局

◆荒川地区防災行政無線（同報系）再整備事業戸別受信機購入契約の締結について

問 取り付けは対象は。

答 今回契約の2800台と手持ち400台を合わせて3200台を荒川地区世帯と事業所を対象に設置します。

◆消防ポンプ（CD-1型）購入契約の締結について

問 新車導入に伴い不要となる消防車はどうなりますか。

答 入札にかけて売却します。なお、近年の状況ですが、30〜70万円くらいですべて売却されています。

されています。

◆消防団消防ポンプ自動車、消防用ポンプ積載車及び小型動力ポンプ購入契約の締結について

問 小型動力ポンプは1台197万円と高額ですが、維持管理はどうしていますか。

答 月2回の点検を要請しています。なお、小型動力ポンプは25年くらいで更新を検討し実施しています。

◆山北総合体育館耐震補強・大規模改修（建築）工事の請負契約の締結について

問 天井撤去とあるが、断熱効果が失われることはありませんか。

答 つり天井は撤去しますが、新たに天井を設置しますので、断熱は確保されます。

答 村上木彫堆朱の認知度向上、首都圏への販路拡大や首都圏におけるプロモーション事業で、事業費の半分が交付金として決まったものです。

【歳出】

・総務費

問 婚活支援事業について結婚に至る成果は出ていますか。

答 27年度は32組、28年度は17組のカップルが誕生しました。結婚まで至ったかについては、プライバシーの関係もあり把握していません。

◆条例改正 1件

◆市有財産の譲与

29年度 特別会計補正予算

◆情報通信事業特別会計

以上を中心に審査しました。

29年度 一般会計補正予算

【歳入】

・国庫支出金

問 新規計上されている地方創生推進交付金の内容は。

市民厚生常任 委員会所管分

◎尾形 修平 ○渡辺 昌
 板垣 一徳 板垣千代子
 小林 重平 山田 勉
 竹内喜代嗣 長谷川 孝
 小杉 和也

◆村上市医学生修学資金貸与 条例制定について

問 貸与された修学資金の返還を全額免除する条件が、市内の病院での従事期間4年となつていますが、他の自治体と比較して短すぎるのではないですか。

答 素案作成にあたり県や医療機関等に聴き取りを行った中で、市立病院を持たない本市では長い期間の指定勤務は難しいとの助言があり、現実的に勤務が可能な期間として4年としました。

問 修学資金の返還を全額免除する条件で、臨床研修を終えてから12年以内という長い指定勤務対象期間は他市の条例では見当たりませんが、12年以内とした理由は。

答 当初は8年くらいを考え

ていきましたが、医師会の助言を参考にこの期間を設定しました。この期間に医師としてのスキルアップを図っていたら、将来村上市に還元していただきたいと考えています。

問 本市の方がこの制度を利用し、医師となつて戻つて来られるのが理想です。修学資金の貸与を本市出身の学生に限定することを考えなかつたのですか。

医師確保へ有効な制度に

答 各病院や医師会、高校の進路担当者などから意見を伺い、この制度の目的である医師の確保には、本市出身の方

に限定するより、住所地要件を設けない方が有効であると判断しました。

問 指定期間内に市内の病院に勤務できないとなつた場合に定められた期日までに一括返済しなければなりません。その際の利子についての規定が必要ではないですか。

答 この制度では、医師として本市に勤務して地域に根ざしていただくという点が優先されており、さまざま理由でそれが叶わなくなつた場合、定められた期限内に一括返済されるのであれば無利子が適



地域の医師不足は深刻な問題(写真は山北徳洲会病院)

◆村上市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 重度心身障害者医療費助成の対象に、精神障害者保健福祉手帳1級所持者の方が追加される改正ですが、対象者の負担はどのように変わりますか。

図っていきます。

29年度 特別会計補正予算

◆介護保険特別会計

以上を中心に審査しました。

29年度 一般会計補正予算

【歳出】

・民生費

問 重度心身障害者医療費の助成対象者の見込みは。

答 対象者は59人で、1人あたり約10万円を見込んでいま

す。助成費用の2分の1が県からの補助金です。

・衛生費

問 医学生修学資金貸与制度を周知するパンフレットの印刷費が計上されていますが、何部作成するのですか。

答 500部を作成する予定です。

問 制度の広報が重要ですが、どのように取り組めますか。

答 市内の高校など地元を中心に、丁寧に制度の周知を

全国市議会議長会・北信越市議会議長会 永年勤続議員表彰受賞

全国市議会議長会および北信越市議会議長会から、板垣一徳議員が永年勤続議員表彰(特別表彰 議員20年以上)を受賞しました。

今回、受賞された板垣一徳議員は昭和59年3月に旧山北町議会議員に初当選以来、議会議員として地域の発展に取り組んできました。



経済建設常任委員会所管分

◎川崎 健二 ○小田 信人
 川村 敏晴 本間 善和
 平山 耕 本間 清人
 姫路 敏 大滝 久志

◆村上市上下水道事業審議会
 条例制定について

問 審議会委員について、一般公募することですが、現状では地区により料金設定が異なります。このため市民の意識に格差があると思いますが、どうですか。

答 一般公募のため、どの地区の方から応募があるかわかりませんが、使用者、受益者の意見もお聞きしながら、それ以外の学識を有する方や関係諸団体の皆さままで市全域の統一料金について審議をお願いしたいと考えています。

問 審議会から村上市への答申はいつ頃になりますか。

答 29年度に設置して、31年度の早い時期に答申をいただきます。と考えています。その後市民や議会への説明や市

民への広報、周知を行い、従量料金を改定したいと考えています。

◆11t級除雪ドーザ(サイドスライドアングリングプラウ) 購入契約の締結について

問 購入する除雪ドーザの保管場所は。

答 市の格納庫に格納しておいて、除雪シーズンになったら業者に貸与する形になります。

問 購入する除雪ドーザの耐用年数は。

答 せんが875万2000円でした。事業費は1750万4000円で、内訳は桑川漁港の南防波堤1334万4000円、脇川漁港の西防波堤416万円です。機能保全計画を立てており、今後船揚げ場等の修繕を予定していることから、次年度以降も事業要望を考えています。

答 法定耐用年数は5年ですが、更新時期は20年超えを目安としています。

29年度 一般会計補正予算

【歳出】

・農林水産業費

問 漁港施設整備経費について、県の内示により予算組み替えを行い、桑川漁港と脇川漁港の防波堤の断面修復工事を行うとのことですが、その内訳と今後の予定は。

答 内示額は全額ではありません。

について、その内容は。

答 土地の名義変更には民事裁判を起す必要がありますが、村上市は裁判の当事者にはならず、現在の登記名義人である旧所有者と現所有者との裁判になります。しかし、旧山北町当時の事務誤りにより未登記となったもので、市が名義変更にかかる裁判費用を負担するものです。

・土木費

問 日沿道新潟・山形県境地区期成同盟会の設立30周年のイベント実施のため、

上下水道料金統一へ審議会設置

30万円を負担金として補正計上しています。このイベントは鶴岡市と村上市の合同開催ですが、鶴岡市の負担は。

答 例年だと両県の意見発表ということでした。実施しましたが、新潟側の提案により、今回は注目を高めるため規模を大きくしてパネルディスプレイを計画していることから村上市で負担し、来年度の30周年記念事業は、鶴岡市が負担する予定です。

29年度 特別会計補正予算

・下水道事業特別会計

問 上下水道事業審議会の会議を3回予定しているとのことですが、その報酬は。

答 1回あたり委員長6500円、委員6300円で、10人分19万円となります。

◆請願 1件

◆市道路線の認定 1件

◆市道路線の廃止 1件

29年度 特別会計補正予算等

◆下水道事業会計

以上を中心に審査しました。



防波堤の断面修復工事が行われる桑川漁港



昨年の日沿道新潟・山形県境地区建設促進大会

平成29年第2回定例会 議決結果

平成29年第2回定例会が、6月13日から30日までの18日間の会期で開催され、市長提案51件、議会側提案の請願2件、議員発議3件を議決し、閉会しました。

〔議案審議結果〕

議案番号	事 件 名	結果	表決
請願第3号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書	採択	全会一致
請願第4号	建設下請業者の社会保険加入問題に関する請願書	採択	全会一致
議員発議第4号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	原案可決	全会一致
議員発議第5号	日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現に真剣に努力するよう求める意見書の提出について	原案可決	全会一致
議員発議第6号	議第89号村上市医学生修学資金貸与条例制定についてに附帯決議	否決	賛成少数
議第50号	村上市農業委員会委員の任命について(大野 章)	原案同意	全会一致
議第51号	村上市農業委員会委員の任命について(村山美恵子)	原案同意	全会一致
議第52号	村上市農業委員会委員の任命について(稲葉浩之)	原案同意	全会一致
議第53号	村上市農業委員会委員の任命について(池田千秋)	原案同意	全会一致
議第54号	村上市農業委員会委員の任命について(石山 章)	原案同意	全会一致
議第55号	村上市農業委員会委員の任命について(齋藤文夫)	原案同意	全会一致
議第56号	村上市農業委員会委員の任命について(阿部正一)	原案同意	全会一致
議第57号	村上市農業委員会委員の任命について(板垣栄一)	原案同意	全会一致
議第58号	村上市農業委員会委員の任命について(遠山久夫)	原案同意	全会一致
議第59号	村上市農業委員会委員の任命について(遠藤俊樹)	原案同意	全会一致
議第60号	村上市農業委員会委員の任命について(増田嘉美)	原案同意	全会一致
議第61号	村上市農業委員会委員の任命について(船山 寛)	原案同意	全会一致
議第62号	村上市農業委員会委員の任命について(本間裕一)	原案同意	全会一致
議第63号	村上市農業委員会委員の任命について(本間サヨ子)	原案同意	全会一致
議第64号	村上市農業委員会委員の任命について(佐藤健吉)	原案同意	全会一致
議第65号	村上市農業委員会委員の任命について(鈴木いせ子)	原案同意	全会一致
議第66号	村上市農業委員会委員の任命について(中山和衛)	原案同意	全会一致
議第67号	村上市農業委員会委員の任命について(菅原隆雄)	原案同意	全会一致
議第68号	村上市農業委員会委員の任命について(加藤孝平)	原案同意	全会一致
議第69号	村上市農業委員会委員の任命について(斎藤 博)	原案同意	全会一致
議第70号	専決処分の承認を求めることについて(専第4号 村上市税条例等の一部を改正する条例制定について)	原案承認	全会一致
議第71号	専決処分の承認を求めることについて(専第5号 村上市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について)	原案承認	全会一致
議第72号	専決処分の承認を求めることについて(専第6号 平成28年度村上市一般会計補正予算(第7号))	原案承認	全会一致
議第73号	専決処分の承認を求めることについて(専第7号 平成28年度村上市蒲萄スキー場特別会計補正予算(第3号))	原案承認	全会一致

議案番号	事 件 名	結果	表決
議第74号	専決処分の承認を求めることについて(専第8号 平成28年度村上市国民健康保険特別会計補正予算(第3号))	原案承認	全会一致
議第75号	専決処分の承認を求めることについて(専第9号 平成28年度村上市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号))	原案承認	全会一致
議第76号	専決処分の承認を求めることについて(専第10号 平成28年度村上市下水道事業特別会計補正予算(第4号))	原案承認	全会一致
議第77号	専決処分の承認を求めることについて(専第11号 平成28年度村上市集落排水事業特別会計補正予算(第3号))	原案承認	全会一致
議第78号	専決処分の承認を求めることについて(専第12号 平成28年度村上市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号))	原案承認	全会一致
議第79号	村上市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第80号	村上市集落集会所施設条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第81号	村上市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第82号	荒川地区防災行政無線(同報系)再整備事業同報系デジタル無線工事の工事請負契約の締結について	原案可決	全会一致
議第83号	荒川地区防災行政無線(同報系)再整備事業個別受信機購入契約の締結について	原案可決	全会一致
議第84号	消防ポンプ自動車(CD-1型)購入契約の締結について	原案可決	全会一致
議第85号	消防団消防ポンプ自動車、消防用ポンプ積載車及び小型動力ポンプ購入契約の締結について	原案可決	全会一致
議第86号	山北総合体育館耐震補強・大規模改修(建築)工事の工事請負契約の締結について	原案可決	全会一致
議第87号	市有財産の譲与について(大沢集落開発センター)	原案可決	全会一致
議第88号	市有財産の譲与について(堀ノ内ふれあいセンター)	原案可決	全会一致
議第89号	村上市医学生修学資金貸与条例制定について	原案可決	賛成多数
議第90号	村上市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第91号	市道路線の認定について	原案可決	全会一致
議第92号	市道路線の廃止について	原案可決	全会一致
議第93号	村上市上下水道事業審議会条例制定について	原案可決	全会一致
議第94号	11t級除雪ドーザ(サイドスライドアングリングプラウ)購入契約の締結について	原案可決	全会一致
議第95号	平成29年度村上市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議第96号	平成29年度村上市情報通信事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議第97号	平成29年度村上市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議第98号	平成29年度村上市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議第99号	平成29年度村上市上水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致
議第100号	平成29年度村上市蒲萄スキー場特別会計補正予算(第1号)	原案可決	全会一致

各議員の賛否

議案審議結果のうち、賛否が分かれた等の網掛けの議案について、議員の賛否を公表します。

◎：会派の代表者 *：会派の会計責任者

議案番号	鷺ヶ巣会							新政村上							清流会				市政クラブ		高志会		日本共産党		賛否結果 賛成 反対			
	◎板垣一徳	*渡辺昌	大滝国吉	小田信人	鈴木いせ子	本間善和	河村幸雄	◎長谷川孝	*大滝久志	佐藤重陽	山田勉	木村貞雄	姫路敏	本間清人	◎川崎健二	*平山耕	※1三田敏秋	小林重平	鈴木好彦	◎川村敏晴	*小杉和也	◎尾形修平	*小杉武仁	◎竹内喜代嗣		*稲葉久美子	板垣千代子	
議員発議第6号	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	10	14
議第81号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	22	2
議第89号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	○	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	1

※1：議長は地方自治法第116条の規定により表決に参加しません。

※2：欠席したため表決に参加しませんでした。

可決

議第89号 村上市医学生修学資金貸与条例制定について

「村上市医学生修学資金貸与条例」は、市内の病院で将来医師として従事しようとする医学生に修学資金を貸与することにより、安定的な医療体制の整備を図ることを目的とする条例です（3ページ下段参照）。本議案は次の討論の後、賛成多数により可決されました。

反対討論 本間 清人 議員

私も医師不足の問題は深刻であり、早急に行政などの支援策が必要であると言ってきましたので、賛成するのが当然かもしれません。しかしながら、将来ある医学生にも誇れる条例にさせていただくためにも、もっと内容を精査してほしいと考えます。他の自治体での同様の条例は、貸与期間の1.5倍以上の期間を地元の指定病院に勤務するとなっておりますが、本条例では5年間であり、医学生が地元で根付かない条例と考え、反対します。

賛成討論 竹内喜代嗣 議員

最初に申し上げたいのは一歩前進ということです。市民の声は、何としても病院の医師を確保してください、安心して病院にかかれるようにしてください、ということではないでしょうか。市内にとどまらず医師を目指す方々に広く門戸を開き支援することは、村上市の医師確保に対する熱意と姿勢が広く全国に示されるものと考えます。また、国全体の医師不足が深刻であり、国の制度構築に対する要望をお願いして、賛成します。

否決

議員発議第6号 議第89号村上市医学生修学資金貸与条例制定についてに関する附帯決議

附帯決議とは、審議案件の執行に当たっての要望や条件等を意思としてまとめたものです。附帯決議の対象となる審議案件が可決された場合に議員から提出することができますが、附帯決議自体に法的拘束力はありません。本附帯決議は次の討論の後、賛成少数により否決されました。

反対討論 板垣 一徳 議員

附帯決議に拘束力はなく、原案が可決されなければ提出できません。また、一般的に附帯決議は、委員会でもとめるものです。白熱した委員会審査において市長から「重要案件であり、しっかり実行していく」と答弁があり、原案が全会一致で可決すべきものと決しました。市長の説明で委員が十分理解できた結果と考えます。さらに、行政と議会は車の両輪であり、市長や議員同士の信頼関係が重要です。よって附帯決議には反対します。

賛成討論 佐藤 重陽 議員

議第89号の医学生修学資金貸与条例の必要性は理解します。しかし、この条例の制度設計が完全とは思えず、議会、議員としては不安を併せ持つ条例と考えます。このため、条例制定による所期の目的が達成されるよう、議会の意思を示す、この附帯決議を支持するものです。附帯決議そのものが法的に拘束力を持つものではありませんが、議会として不安を少しでも拭い去るためにも、決議する重みはあるものと考え、賛成するものです。

請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	付託委員会	審議結果
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書	新潟県教職員組合村上市岩船郡支部 執行委員長 高橋 忠	本間 清人	総務文教 常任委員会	採 択
建設下請業者の社会保険加入問題に関する請願書	新潟県商工団体連合会 会長 渡部 睦夫	竹内喜代嗣	経済建設 常任委員会	採 択

※請願は本会議で採決が行われ、全会一致または賛成多数の場合、採択されます。

陳情の審査結果

件名	陳情者	所管委員会	審査結果
国政選挙における選挙区定数等の見直しに関する意見書提出に係るお願い	自由民主党新潟県支部連合会 幹事長 柄沢 正三 政務調査会長 桜井 甚一	総務文教 常任委員会	意見の 一致を見 なかった
廃校後の上海府小学校の利活用についての陳情	上海府地区区長会 会長 佐藤 和久 外 上海府地区8集落 住民一同	総務文教 常任委員会	願意了承

※陳情は所管常任委員会の協議会で審査され、常任委員全員の了承で、願意了承となります。

意見書

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書
日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現に真剣に努力するよう求める意見書

以上の意見書は、第2回定例会で可決され、関係行政庁に送付されました。

農業委員会委員が決まりました

次の方が議会で同意されました。
(任期：29年8月1日～32年7月31日)

大野 章氏

村山美恵子氏

稲葉浩之氏

池田千秋氏

石山 章氏

齋藤文夫氏

阿部正一氏

板垣栄一氏

遠山久夫氏

遠藤俊樹氏

増田嘉美氏

船山 寛氏

本間裕一氏

本間サヨ子氏

佐藤健吉氏

鈴木いせ子氏

中山和衛氏

菅原隆雄氏

加藤孝平氏

斎藤 博氏

悲願達成まであとわずか！～全国森林環境税創設 総決起大会～

当市議会の板垣一徳議員が会長を務める「全国森林環境税創設促進議員連盟」の第24回定期総会が、7月20日、高知県高知市で開催されました。



同連盟は、全国353市町村議会が加入。森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかるための財源となる「全国森林環境税」の創設を目指し、さまざまな取り組みを展開しています。

総会では、平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら、具体的な

仕組み等について総合的に検討し、平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、今年度が制度創設の取り組みの正念場と捉え、本総会を「総決起大会」と銘打ち、全国1,741の全市町村議会に、関係機関に対する「全国森林環境税の創設に関する意見書」の提出を求めることが承認されました。

平成28年度 政務活動費の交付実績

1 会派の政務活動費(所属する議員1人当たり55,000円)

(単位:円)

会派名	申請額	交付決定額	実績報告額	対象経費	返還額
鷲ヶ巣会	385,000	385,000	461,933	385,000	0
新政村上	370,000	370,000	363,180	363,180	6,820
清流会	275,000	275,000	168,974	168,974	106,026
市政クラブ	110,000	110,000	159,998	110,000	0
高志会	110,000	110,000	145,000	110,000	0
日本共産党	110,000	110,000	85,327	85,327	24,673
合 計	1,360,000	1,360,000	1,384,412	1,222,481	137,519

2 特例により会派に所属しない議員に交付する会派の政務活動費(1人当たり55,000円)

(単位:円)

会派名	申請額	交付決定額	実績報告額	対象経費	返還額
板垣千代子	25,000	25,000	14,750	14,750	10,250
姫路 敏	55,000	55,000	0	0	55,000
合 計	80,000	80,000	14,750	14,750	65,250

3 議員の政務活動費(議員1人当たり55,000円)

(単位:円)

会派名	申請額	交付決定額	実績報告額	対象経費	返還額
小杉 武仁	55,000	55,000	87,588	55,000	0
河村 幸雄	55,000	55,000	300,961	55,000	0
本間 善和	55,000	55,000	263,178	55,000	0
鈴木 好彦	55,000	55,000	31,476	31,476	23,524
稲葉 久美子	55,000	55,000	56,500	55,000	0
渡辺 昌	55,000	55,000	72,110	55,000	0
尾形 修平	55,000	55,000	22,000	22,000	33,000
板垣 千代子	55,000	55,000	27,200	27,200	27,800
鈴木 いせ子	55,000	55,000	61,679	55,000	0
本間 清人	55,000	55,000	21,534	21,534	33,466
川村 敏晴	55,000	55,000	131,735	55,000	0
小杉 和也	55,000	55,000	87,102	55,000	0
姫路 敏	55,000	55,000	174,331	55,000	0
竹内 喜代嗣	55,000	55,000	61,263	55,000	0
平山 耕	55,000	55,000	74,098	55,000	0
川崎 健二	55,000	55,000	22,000	22,000	33,000
木村 貞雄	55,000	55,000	22,053	22,053	32,947
小田 信人	55,000	55,000	66,010	55,000	0
長谷川 孝	55,000	55,000	98,192	55,000	0
小林 重平	-	-	-	-	-
佐藤 重陽	55,000	55,000	31,990	31,990	23,010
大滝 国吉	55,000	55,000	63,613	55,000	0
大滝 久志	55,000	55,000	59,735	55,000	0
山田 勉	55,000	55,000	83,268	55,000	0
板垣 一徳	55,000	55,000	59,400	55,000	0
三田 敏秋	55,000	55,000	42,829	42,829	12,171
合 計	1,375,000	1,375,000	2,021,845	1,156,082	218,918

申請額の欄の「-」表記は、政務活動費の交付申請を行わなかった議員です。

なお、各会派および議員の収支報告書は、村上市議会のホームページでご覧いただくことができます。また、支出関係書類や領収書等については、議会事務局で閲覧できます。

市議会では、定例会の会期が終了すると各常任委員会に分かれ、行政課題など各所管事項について調査しています。

市政をチェック!

閉会中事務調査



学校統合を控え、統合後の学校施設として、三面小学校を迎える小川小学校と、上海府小学校を迎える瀬波小学校を視察しました。

小川小学校では、管理教室棟の壁と1階廊下の床に劣化が見られたほか、屋内運動場に接する倉庫スペースの確保が迫られています。

瀬波小学校では、教室と教務室間の通話設備と、屋外の放送設備の要望がありました。

さらに、両校の問題として会議室の必要性を感じました。

総務文教常任委員会
夢が広がる学び舎へ



市内火葬場の現状調査と併せて、事業費約14億円で26年7月に竣工した最新設備の火葬場「阿賀北葬祭場」(阿賀野市)を視察しました。

本市の火葬場は建物や設備の老朽化が見られ、人生最後の厳粛な儀式の場として課題があるように感じました。

市の計画では、31年度に火葬場整備の検討委員会が設置されますが、現状から建て替えは必然であると思われる、一刻も早い取り組みが必要であると認識しました。

市民厚生常任委員会
老朽火葬場
建替計画を早急に



朝日みどりの里の指定管理者である(株)まほろばの皆さんと、施設を視察後に意見交換を行いました。

今後の課題として、指定管理期間を長くしてもらうと計画的な運営が可能となり、職員の雇用も安定し、売り上げ拡大を図ることができるとの意見がありました。

「道の駅朝日」の拡充構想もあり、今後ますます重要な役割を担う施設であることから、委員会としても注視していきたいと考えています。

経済建設常任委員会
観光拠点
今後の拡充を注視

委員会	調査日	調査事項
総務文教常任委員会	4月24日	統合により受け入れることになる学校(小川小学校および瀬波小学校)の準備状況
市民厚生常任委員会	5月12日	村上火葬場無相院、荒川火葬場普照園および阿賀北葬祭場の現況調査
経済建設常任委員会	5月9日	指定管理施設(朝日みどりの里関連施設)の現状調査および株式会社まほろばとの意見交換

ヒタビヨ

広報特別委員会委員が
おじゃましました！



親子三代での農林業経営

小田 裕太さん (本小須戸)

農業高校卒業後、北海道の大学で畜産を学び、自家就農して6年目となります。現在、父と私で70頭前後の村上牛の肥育に取り組んでいるほか、5.5haの水稲も手掛けています。また、代々所有してきた30haの山林を、祖父が手入れをして大事に守っています。

祖父に頼まれて山仕事を手伝ったり、人手が必要な田植えの際には親子三代で作業するなど、家族で協力して農林業経営を行っています。

市のふるさと納税の返礼品として村上牛が大人気となっていると聞き、生産者として大変嬉しく思いますが、生産現場では厳しい状況もありま

す。以前から生産者の高齢化と後継者不足が課題となっているほか、東日本大震災の影響で東北地方の繁殖農家が激減したことから、子牛の値段が高騰し、頭数の確保が難しくなっています。

将来にわたって村上牛のブランドを守っていくためには、生産規模の拡大や生産性の向上が必要であり、数少ない後継者の中で若手である自分に何ができるのか、今何をしなければならないのか常に考えています。

市民の皆さんには、地産地消の面からも、地元で生産されている美味しい村上牛をぜひ食していただきたいと思います。

スマートフォンで議会中継を始めます！



村上市議会ではインターネットによる議会中継を行っていますが、より多くの皆さんに議会への関心を持っていただくため、9月定例会初日から、これまでのパソコン向けに加え、スマートフォン等向けの動画配信を開始します。ぜひご覧ください。

(写真はイメージです。)



村上市議会ホームページ
<http://www.city.murakami.lg.jp/site/shigikai/>

クリック!!



平成29年 第3回定例会のお知らせ(予定)

8月22日(火)	請願・陳情の提出期限(正午まで)
9月5日(火)	定例会初日(本会議)
7日(木), 8日(金) 11日(月), 12日(火)	一般質問(本会議)
13日(水), 14日(木)	総務文教常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
15日(金), 19日(火)	市民厚生常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
20日(水), 21日(木)	経済建設常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
25日(月)	一般会計予算・決算審査特別委員会
28日(木)	定例会最終日(本会議)

*この日程は変更されることがあります。
*開会時間は午前10時です。